



舗装ひび割れ

ひも埋め込み補修

大成ロテック 積雪寒冷地などで展開

大成ロテックは10日、舗装のひび割れを補修するひも状のアスファルト系補修材を開発したと発表した。ひび割れに沿ってひもを埋め込むことで簡易に補修できる点が特長。従来の補修材と比較して施工後に隙間……

巻いた状態のストリングシート

がでにくく、長期にわたって水の浸入を防げる。低温時にも使用できることから、積雪寒冷地を中心に全国展開を図る予定だ。

開発した補修材「ストリングシート」は直径5mm程度のロープ状をしている。使い方は、ひび割れの長さに応じて適当な長さに切断し、ひび割れ部に沿って埋め込み、ガスバーナーで加熱溶接することでひび割れ深部まで充填(じゅつてん)する。柔らかい特殊アスファルトを使用しているた

め、施工後に舗装が収縮したり、ひび割れ幅が広がったりした場合も追従して隙間がでにくい。

補修に液状のアスファルトを使用した場合と比較して、施工後の美観に優れている点も特長の一つ。液状のアスファルト補修材の場合、注入後に路面からはみ出したり、走行する車両のタイヤに付着してしまったりする懸念がある。ひも状のストリングシートを使うことでこうした事態が防げるようになる。